

マネするだけで授業が変わる!

ミライシード 活用事例BOOK



- ▶ スムーズなタブレット運用のポイント
- ▶ 先生の1日スケジュール
- ▶ 小学校活用事例
- ▶ 中学校活用事例

マネ
する

もっと
子ども
主体に

一人
ひとりが
見える

業務
効率化

24 スケジュールやシーン別
事例掲載!



※この冊子では、「オクリンク」と「ムーブノート」の実践事例を紹介しています。
自治体の契約形態により、ご利用いただけるアプリは異なります。

子ども主体で学びが広がって

ICT活用で、子どもたちにも先生にも、もっと面白くもっと快適に学びを深めてもらいたい。ミライシードを

Point

1

一斉共有で意見交流が活発に



金沢市鞍月小学校
田野先生

「これまでの意見発表では多くても5、6人が限界。「ミライシード」を使えば全員の意見が一瞬で共有でき、みんなの意見を使った授業ができます。」



小矢部市立大谷小学校
大窪先生

「意見によってカードを色分けしておくことで、一斉表示の際クラスの意見の傾向がわかり議論が活性化します。」

Point

2

比較・マネで子どもたち同士で主体的に学び合う



枚方市立第四中学校
佐納先生

「提出されたカードを見合うことで、まとめ方や着眼点の違いに気づき学びを深めることができます。」



福岡市立田隈中学校
中村先生

「教科や単元に苦手を感じている子ども、ほかの子のカードを見て参考にしながら学び取ることができています。」

Point

3

直感的操作で低学年も自由自在



小矢部市立大谷小学校
川村先生

「カードを開いたまま写真や動画を撮ることができるので、低学年児童でも自由に表現活動ができます。」



練馬区大泉第四小学校
原先生

「ペンの色や文字の太さを変えることで、伝えたいことをうまく表現できます！」



児童・生徒が活用!※1

いく授業に! 6つの特長

使って「変わった!」という先生がたのお声から、評価いただいているポイントをご紹介します。

Point

4 拍手やコメント※2で相互評価が深まる



加古川市立陵南中学校
新井先生

「拍手する回数や人に上限を設けることで、「なぜよいと思うのか」をしっかり考え評価することができます。」



福岡市立田隈中学校
辻先生

「毎日の健康チェックに使っています。生徒同士でコメントを入れて交流することができ、会話にもつながっています。」

Point

5 「個人の進度」で「何度でも」。個別最適な学びが実現



八幡市立中央小学校
水谷先生

「体育で動画で自分の動作を撮って振り返るだけでなく、教員も一人ひとりの様子がしっかり見られるので、個別のフォローがしやすくなります。」



相模原市立新宿小学校
和田先生

「リコーダーの演奏など、不安な子はお手本となる動画を繰り返し見ること、自分に合った使い方での自信をつけることができます。」

Point

6 プロセスの蓄積で成長・変化から評価



新宿区立柏木小学校
高橋先生

「[オクリンク]・[ムーブノート]の成果物が自動で蓄積される「カルテ」で、効率的で緻密な評価ができます。」



新宿区立富久小学校
岩本先生

「活動ごとに撮影したり気づきを残したりすることで振り返りができ、子どもたち自身で成長を実感できます。」

「メインコンテンツ」



オクリンク



ムーブノート

の24事例を

マネするだけで
効果が出る

意見発表がしやすい「オクリンク」と考えを可視化して相互評価できる「ムーブノート」について先生たちの工夫を紹介していきます。

Check >>>

※1 2022年10月時点。

※2 拍手やコメント機能は、「ムーブノート」の機能です。

1事例1分で読めて
今日の授業から実践できる!

目次・

小学校活用事例14



ICTの利点をいかした 先生の1日スケジュール P.4-5

まずはCheck!

- | | |
|---|---|
| <p>算数 オクリンク</p> <p>1. 対話で理解が深まる!
図形のなかま分け P.6
#意見交流</p> <p>社会 オクリンク</p> <p>2. まとめる力がどんどん身につく
担当制調べ学習 P.7
#学び合い</p> <p>理科 オクリンク</p> <p>3. 自由な表現で興味が高まる
実験の予測 P.8
#意見交流 #直感的操作</p> <p>国語 ムーブノート</p> <p>4. 改善点が具体的にわかる
座標軸の相互評価 P.9
#学び合い #スタンプ機能</p> <p>算数 オクリンク</p> <p>5. 全体共有で対話を生み出す
立式・考え方の共有 P.10
#一斉共有 #意見交流</p> <p>社会 オクリンク</p> <p>6. クラス全員がテーマを自分ごとに!
大臣なりきり法案発表 P.11
#一斉共有 #意見交流</p> <p>図工 オクリンク</p> <p>7. 納得がいく作品づくりにつながる!
事前フィードバックと工程記録 P.12
#蓄積 #ポートフォリオ</p> | <p>国語 オクリンク</p> <p>8. 進捗把握で個別フォローが可能に
調べ学習テンプレと振り返り P.13
#一斉共有 #個別最適</p> <p>算数 ムーブノート</p> <p>9. クラス全員でモヤモヤがゼロに!
匿名共有と意見交流 P.14
#意見交流 #一斉共有</p> <p>道徳 ムーブノート</p> <p>10. 「テキスト分析」で対話が活性
共通解が見つかる意見交流 P.15
#意見交流 #集計機能</p> <p>国語 オクリンク</p> <p>11. 3ステップで多面的な視点が持てる
自動車図鑑づくり P.16
#意見交流 #学び合い</p> <p>理科 オクリンク</p> <p>12. 蓄積と共有で深い観察に!
植物の観察記録 P.17
#直観的操作 #蓄積</p> <p>英語 オクリンク</p> <p>13. 相互評価で改善が進む
英語スピーチ P.18
#相互評価 #学び合い</p> <p>学級会 オクリンク</p> <p>14. 子どもたち主導で意志決定できる
学級会進行テンプレ P.19
#意見交流 #授業外活動</p> |
|---|---|

この本の使い方

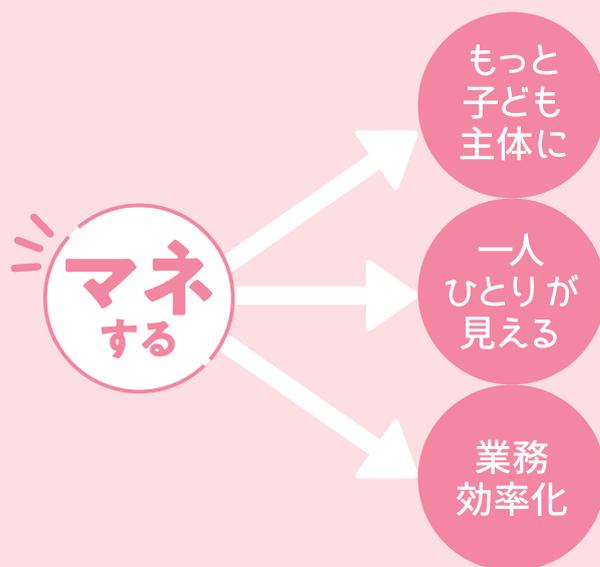
中学校活用事例8

ICTの利点をいかした 先生の1日スケジュール P.20-21

まずはCheck!

- 国語** **ムーブノート**
1. 視覚化・交流で理解が深まる
心情変化グラフ P.22
#意見交流 #スタンプ機能
- 国語** **オクリンク**
2. スピードも質も上げて効率化
提出物返却 P.23
#業務効率化 #学び合い
- 英語** **ムーブノート**
3. 文法を「使って」定着
英作文プレゼン P.24
#相互評価 #学び合い
- 数学** **ムーブノート**
4. 色・線の工夫で伝わりやすく表現
立式の考え方共有 P.25
#直感的操作 #学び合い
- 数学** **ムーブノート**
5. 単元導入時にニガテ意識払拭
考え方の分類 P.26
#意見交流 #学び合い
- 理科** **ムーブノート**
6. 全体共有でつまづきを解決
図と説明から理解度確認 P.27
#一斉共有 #意見交流
- 社会** **オクリンク**
7. 時代の特色を再整理できる
人物調べとNO.1投票 P.28
#一斉共有 #学び合い
- 共通** **ムーブノート**
8. 伝わる書き方で対話が生まれる
話型テンプレ P.29
#意見交流 #相互評価

この本は、全国の先生がたから教えていただいた、取り入れやすく効果が出やすい事例を厳選しています。各事例の工夫は、汎用性の高いものばかりですので、小中学校や教科にかかわらず、「#」のキーワードで気になるページをご覧ください。いただくこともオススメです。



タブレットの管理も
大切です!

お悩み別・スムーズな
タブレット運用の
ポイント

..... P.30-31

困りごとはすぐに解決! /

サポートコンテンツのご紹介

..... P.32-33

小学校の事例START!

ミライシードを活用されている先生のICTの利点をいかした1日スケジュール

登校時・朝イチ

業務
効率化

朝のうちに 翌日の連絡事項をつくる

登校



必ず確認してほしいことを書きながら コミュニケーションの場にもする

- | | | |
|---|-----|------------|
| 1 | 社会 | 水産業のさかんな地域 |
| 2 | 社会 | 4つくらの班 発表! |
| 3 | 理科 | 〇〇先生 |
| 4 | 理科 | 〇〇先生 |
| 5 | 算数 | 倍数と公倍数 |
| 6 | 体育中 | 飛び箱運動 |

宿題 音読 漢字 自学自習 ※今週は漢字小テストはありません。
持ち物 エプロンなど(27日まで)

今週は、なんと三日しかありません!という中日の水曜日。
たのしががんばりましょー。

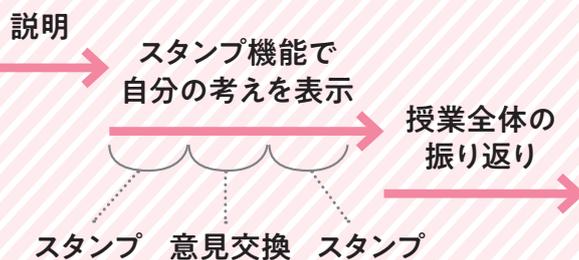
OS付帯のソフトを利用して、連絡事項として、翌日の持ち物や予定を入力。保護者も確認できるプラットフォームとして使える。連絡帳も電話も省略でき、時短になる。また、動画や板書の写真も掲載することで、家庭での会話にもつながる。



長期休暇中でも、自分がやっていることやクラスで飼育している金魚の様子、読んだ本などブログのように書き、子どもたちとの接点として活用。

授業①

一人
ひとりが
見える



振り返りを自由に書かせ 共有することで理解を深める



ムーブノート

振り返りでは、紙のノートにまとめとして自分の考えを自由に書いて、写真を撮って「ムーブノート」へ。ほかの人へのコメントやスタンプを送る。





タブレットを「ただ使う」から「よりよく使う」ように移行していくことが重要だと思いながら活用しています。ある程度子どもにも自由に使ってもらい、異学年交流や授業外活動での活用など、普段の活動に日常的に使うことをオススメします！

調布市立多摩川小学校
庄子寛之先生

授業②

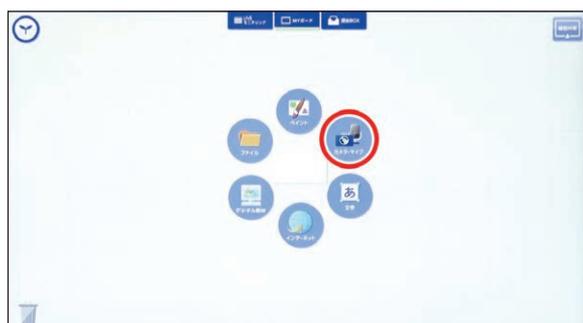
もっと子ども主体に

写真や動画は
どんどん撮る



授業以外

振り返りを蓄積することで
自分の学びの変化が見える



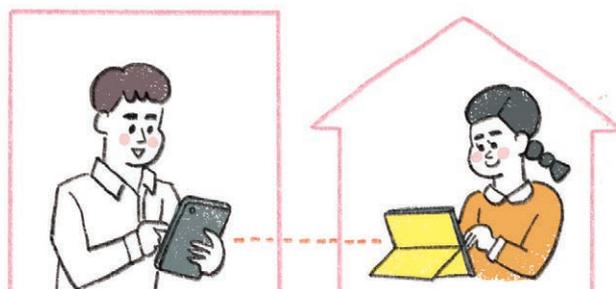
オクリンク

体育など、写真や動画がカードとして蓄積されていくことで、1年前の飛び箱の飛び方など過去の自分と比べられ、変化や成長に気づくことができる。難しいことを考えずに、シンプルに写真や動画で共有する。

宿題・健康観察

一人ひとりが見える

宿題・健康観察も
タブレットを活用



授業以外でも日常使用する



カルテ

ドリルパーク

ムーブノート

宿題は、いつでもスキマ時間でできる「ドリルパーク」で出す。宿題以外でも家庭で取り組んだものを確認することができ、「カルテ」を見ながら学習状況を評価できる。「ムーブノート」で体温の記録など健康観察も。

使うために使うのではなく、便利だから使うへ。
シンプルに楽しんでできる方法を試していただきたいです。

1 対話で理解が深まる！ 図形のなかま分け

個別学習としてプリントで「三角形とその他の図形のなかま分け」をした後に、「オクリンク」を使って協働学習をすると、子どもたちの理解が深まります。



八幡市立中央小学校
水谷智明先生

#意見交流

BEFORE

- 協働学習で対話を引き出しづらい
- プリント学習のみはわかった気になりがち

AFTER

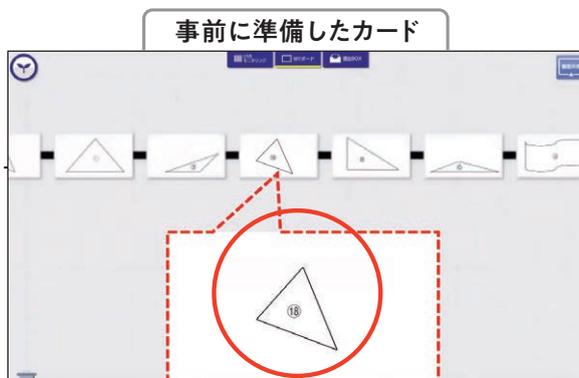
- ▶▶ タブレットを使うと対話が盛り上がる
- ▶▶ 習ったことを即使うから理解がより深まる

Step

1

【授業前】

クラスの人数分の異なる図形が描かれたカードを用意。各自に1枚ずつ送る。

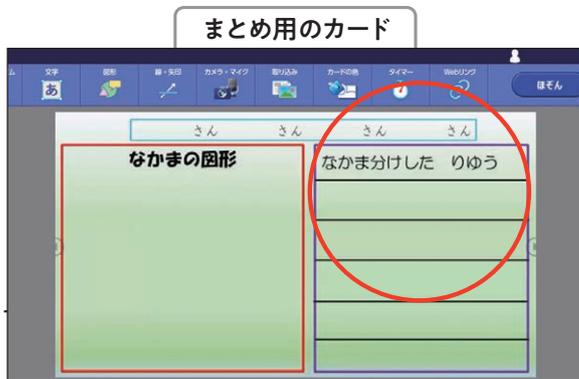


Step

2

【授業開始時】

子どもは送られてきた図形を画面に映し、教室を歩き回って同じ仲間の図形を持つ子どもとグループになる。

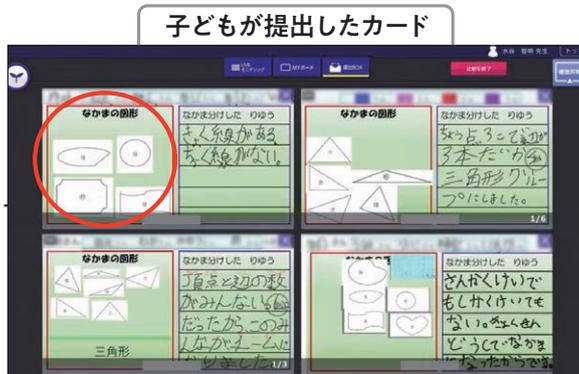


Step

3

【対話】

グループで、同じなかにした理由を話し合う。最後に、全員の図形カードを代表者がスクリーンショットで画像化し、理由も書いて「提出BOX」へ。



グループになった理由や分類した理由を話し合うことで、多くの意見に触れることができる。

Step

4

【まとめ・全体】

先生は、各グループカードをモニターに表示し、ほかのグループの考えや図形の特徴などを押さえ、単元を整理。

グループ別なので発表もしやすい。

詳しくはWebでチェック!



分類をさせて気づきを促す授業なら算数以外でも使えます!

まとめる力がどんどん身につく 担当制調べ学習

「日本国憲法」についての協働学習で、子どもたちが資料をつくりやすい「オクリンク」を使用。テーマ担当を決め調べて共有することで、「憲法」の概要をつかんでいきました。

#学び合い

相模原市立南大野小学校
西岡裕太先生



BEFORE

- 相手に伝わる資料を説明する際、イメージがわきづらい

AFTER

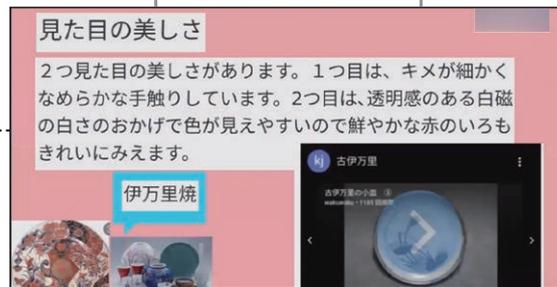
- 実際に子どもがつくった見本でイメージがわきポイントが理解しやすい
- 目的や役割があることで責任を持ちより主体的に取り組む

Step 1

[全体]

授業のねらいや流れを伝えた後で、他学年の子どものお手本カードを提示。先生は、お手本のどこがよいのか説明。

お手本となるカード

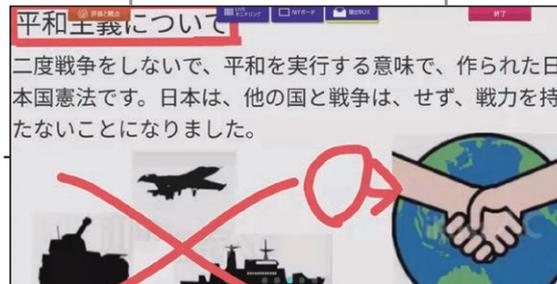


Step 2

[個別]

班の中でテーマの担当を決め、各自で調べわかったことをカードにまとめる。複数時数にまたがる場合も、授業ごとに「提出BOX」へ提出させる。先生は進捗確認ができ、子ども同士もほかの子のカードを見ることで気づきにつながる。

子どもが作成したカード



Step 3

[班別]

すべての資料ができれば、グループ内で共有し、自分の資料を説明。全員で、「日本国憲法」とは何かを考え、全体像を把握していく。最後にほかのグループと比較して振り返る。

「提出BOX」で一覧で見る



タブを分けることで、最初の授業からの提出物の変化も見るができる。



ある程度子どもたちの裁量に任せることで
単元理解だけでなく伝え方やまとめ方が工夫され、
教科書に載っていないことまで意欲的に調べ始めました!

3 自由な表現で興味が高まる 実験の予測

実験予測を頭の中で考えるだけでなく、表現することでより主体的な実験ができます。図や矢印を使って気軽に考えをアウトプットできる「オクリンク」が有効です。

#意見交流 #直感的操作

東京都立小学校
H先生



BEFORE

AFTER

- 言葉で表現することがニガテな子が多い
- 自由な発想がうまれづらい

- ▶▶ 言葉と図解で考えることで**積極的になる**
- ▶▶ 予測の全体共有で**自然な対話活動に**

step

1

【授業前】

先生は、異なる3つの条件を図で示したカードを作成し、送付する。



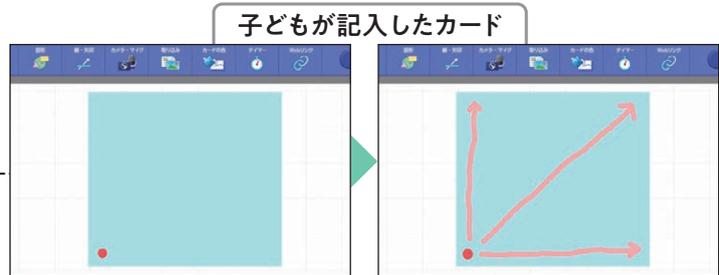
左:①四角い金属を左下から温める／中:②四角い金属を
中心から温める／右:③形の異なる金属を左下から温める

step

2

【個別】

子どもたちは、送られてきた3枚それぞれのカードに、予測をペンで記入し、「提出BOX」へ提出。



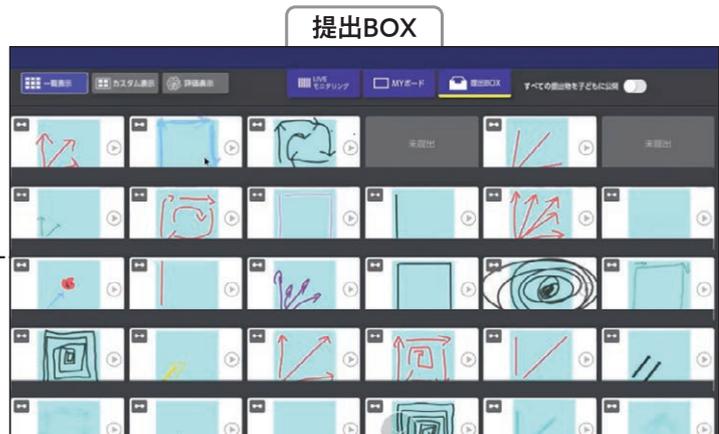
①の条件で予測をしたカード。

step

3

【まとめ・全体】

モニターに「提出BOX」を映し、全員のカードを一覧で映しながら、子どもたちは考え方を発表。図として見えていくことで、ほかの子の考えに興味を持てる。



①の条件における予測を示したカードが出され一覧に。



全員の考えが見えることで、「〇〇さんの考え方を聞いてみたい!」という積極的な発言も出てきます!

改善点が具体的にわかる 座標軸の相互評価

「資源や環境を大切にするために私たちができること」についてのグループ発表の場面で「ムーブノート」を使用。ただ聞く→感想を言うだけでなく、「スタンプ」を活用した全体の評価・集計で改善点が明確になりました。

#学び合い

#スタンプ機能

新宿区立柏木小学校
高橋蔵匡先生



BEFORE

AFTER

• 発表の評価は
漠然としがち

▶▶ 座標で表すことで**微妙なニュアンスを表現**

• 発表の改善ポイントが
つかみづらい

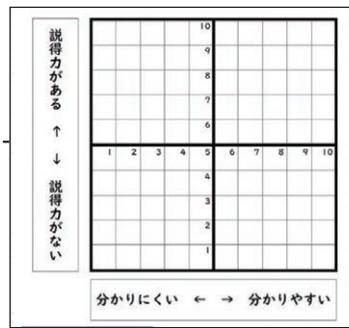
▶▶ スタンプ集計とコメントで改善点が**具体的にわかる**

Step

1

[授業前]

パソコンソフトで、座標軸を作成した後、画像化。「ムーブノート」の「スタンプ」ボタンからカードに図版を取り込み、コメント記入欄もつくる。



事前に作成する
座標

パソコンで作成することで、ラベルが変更しやすい。

Step

2

[グループ発表]

子どもたちはグループをつくり、タブレットや手書きでテーマに関するポスターを作成。

スタンプとコメントを記入



感想など
裏紙など自分たちでできることが示されていていいと思った。「確実に」というワードがいいと思った。

感想など
東京都で実際にある活動を取り上げていたことがいいと思いました。

Step

3

[全体で評価]

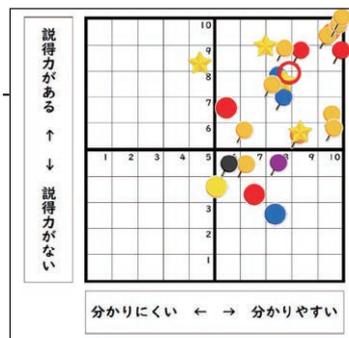
「説得力」・「分かりやすさ」の軸で、それぞれの発表に「スタンプ」を押していく。コメント欄に、グループ発表がよりよくなるための助言も記入。

Step

4

[評価と振り返り]

子どもたちの「スタンプ」を集計し、全体の印象を把握。自分のグループへの助言とほかのグループが評価された点を確認し、修正点を話し合う。発表資料を修正し、完成。



スタンプで評価



相互評価をすることで、目的や意図に応じた観点が得られ、伝えたいことが明確になっていきます！

5 全体共有で対話を生み出す 立式・考え方の共有

3年生の算数の1コマの授業で「オクリンク」を使って、数量の関係を図で表し、考える力をつける協働的な学びを進めました。図解なので気軽に自由に入力でき、共有のしやすさもあって意見交流が自然に発生しました。

#一斉共有 #意見交流

練馬区立大泉第四小学校
原 裕貴先生



BEFORE

- 個別で考えるだけでは考えが広がりにくい
- アナログの場合、同じ図を配るなど非効率

AFTER

- ▶▶ 友だちの考えとの**比較や再考**をすることで考えが深まる
- ▶▶ 自由に表現でき**すぐに人と共有**できる

Step

1

【授業前】

2本の物差しを使って長さを測る課題を解くための図を入れたカードを作成し、各自に配付する。



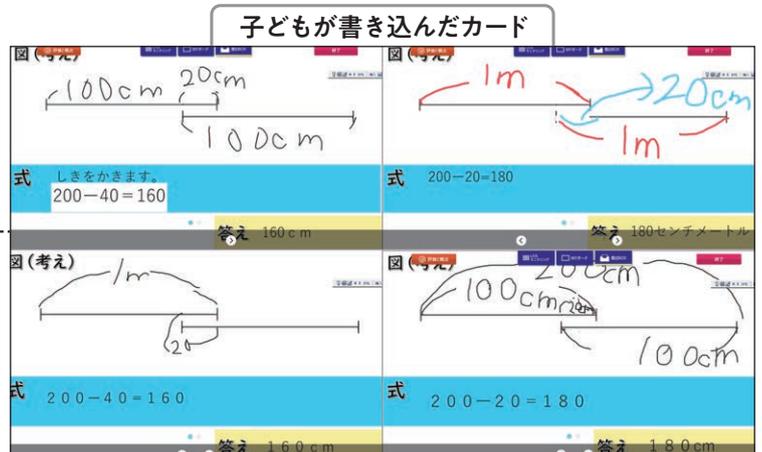
図とともに、式と答えを書く場所もつくる。

Step

2

【個別】

自分の考えと解答をペンで書き込む。書いたり消したり何度でもできるので、多くの子どもが伝えたいことの整理ができ、多くの児童に伝わりやすくなる。



色を変えたり線を消したりして自由に表現できる。

Step

3

【全体】

全体表示をして、既習事項を生かした考えのよさに注目させる。また、ほかの人とタブレットを見せ合いながら自分の考えを説明したり、自分とは違う考えを聞いたりする。お互いによい考えのカードを送り合ったり、教え合ったりする。

Step

4

【まとめ・全体】

最後にクラス全員のカードを一覧で見せながら、考え方を先生がまとめていく。



紙ではできない全体表示をすることで、友だちの意見を聞きたいという意欲が高まり、対話につながります。

クラス全員がテーマを自分ごとに！ 大臣なりきり法案発表

大臣についての学習で、「自分が〇〇大臣になったら何をするか」というテーマで発表。国における役割や求められていることを主体的に考え、政治への興味・関心も高まります。

#一斉共有

#意見交流

寒河江市立醍醐小学校
小関直幸先生



BEFORE

- 知識・暗記のみだと興味わきづらい
- ただ発表を聞くだけでは自分の考えがもちづらい

AFTER

- ▶▶ 大臣になりきることで自分ごととして考えられる
- ▶▶ 賛成／反対の決定と理由を求めることで能動的に参加できる

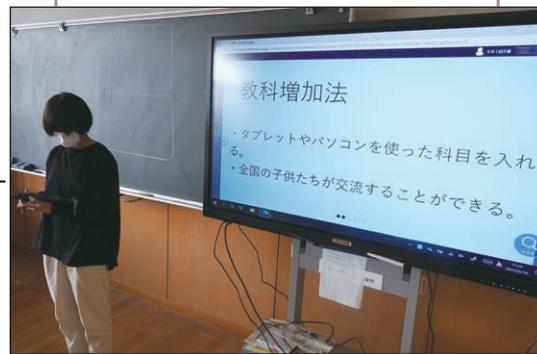
Step

1

[個別]

国務大臣の役割などを学び、自分がなりたい大臣を選ぶ。「国務大臣名」と「調べた省庁の仕事」、「実施したい法案」の3枚のカードを作成する。

子どもがカードで発表している様子



国会に見立て答弁する。調べたものをそのままプレゼンスライド化できる。

Step

2

[全体]

クラス全員の前で、カードを画面に映しながら一人ずつ発表する。発表された法案に、賛成＝青、反対＝赤のカードをつくり、「提出BOX」へ提出する。理由も明確にして、自分の意見を伝える。

投票後の「提出BOX」



賛成か反対かを決定する活動を設定することで、答弁をしっかり聞く必要感が生まれる。

Step

3

[まとめ・全体]

授業の最後に、紙のノートに振り返りを記入。その際、「国民の生活が豊かになるか」という観点を提示し、右の「振り返り項目」にそって記述。

振り返り項目

- 友だちの考えに納得できたか。
- 友だちの考えは、実現可能か。
- 自分の学びについて、
どういった広がりや深まりがあったか。



「ゲーム1日1時間法」・「ゴミ取りで得する法」などユニークな法案が出て、楽しみながら政治への理解を深めることができました。

社会

オクリンク

7 納得がいく作品づくりにつながる！ 事前フィードバックと工程記録

図工の授業で複雑な工程が必要な作品は、つくる前に見通しを立てることが大切です。着手前のやり取りや、各工程での工夫点を残すために、「オクリンク」を使いました。

#蓄積

#ポートフォリオ

新宿区立富久小学校
岩本紅葉先生



BEFORE

AFTER

- 工程を把握していないと
時間内に完成できない
- 完成まで時間がかかり
工夫点を忘れてしまう

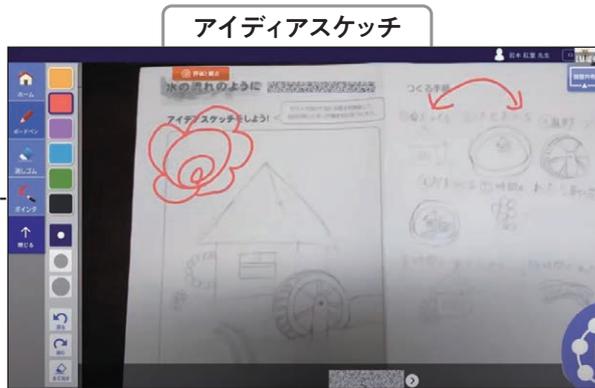
- ▶▶ 事前のアイデアスケッチとアドバイスで
注意点がわかる
- ▶▶ **プロセスの記録**で全体を通した工夫を振り返る

step

1

[個別]

子どもたちは、作品イメージと工程のアイデアスケッチを撮影し「カードBOX」に提出。先生は、手書きのアドバイスを各自に送る。



左側にある「ふたばマーク」からペンを出して、直接アドバイスを書き込む。

step

2

[制作]

自分のアイデアスケッチと先生のアドバイスを見ながら、一気に粘土で形をつくる。



事前に見通しと注意点を把握しているの、時間内で完了。

step

3

[記録]

各工程の最後で写真を撮り、「オクリンク」にためていくことで、粘土の色が変わっていく様子など全体の流れを視覚化、深い振り返りができる。



自分の作品を忘れず、取り間違いも防ぐことができる。

詳しくは
Webでチェック!



プロセスが写真でたまっていくことで、各工程でこだわった点などを思い出しやすく、より深い振り返りにつながります。

進捗把握で個別フォローが可能に 調べ学習テンプレートと振り返り

文章がニガテな子も、「オクリンク」のカードの項目ごとに記入することで自然とプレゼンテーションができるように。書くことへのハードルも下がります。

#一斉共有

#個別最適

相模原市立新宿小学校
和田愛莉先生



BEFORE

AFTER

• つながった文章を書くことが難しい

▶▶ 項目に沿って記入することで、**作文が可能**に

• 子どもの進度に合わせたフォローがしづらい

▶▶ **得意・ニガテに合わせた学び方**ができる

Step

1

【授業前】

文章のひな型となるカードを用意。調べたきっかけや調べ方、わかったことなどの作文用のカードと振り返り用のカードをつくる。

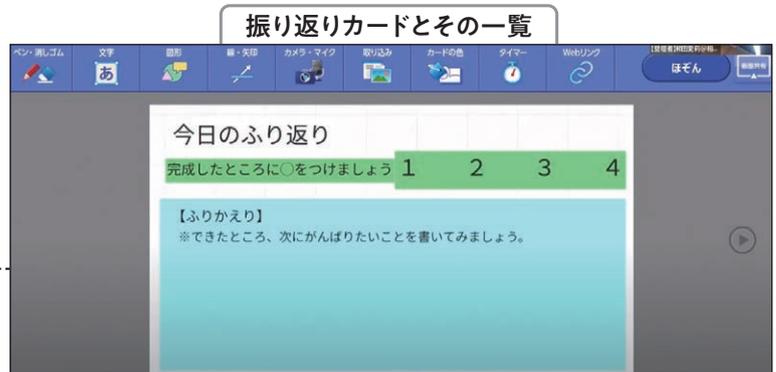


Step

2

【個別】

子どもは、カードの項目に沿って入力し、「提出BOX」へ提出。入力が遅れている子には声をかける。



Step

3

【再考】

早く終わった人は、友だちのカードを見て再考しカードの色を変え再提出。または、別テーマでもう一枚作成するなど自分のペースで進むことができる。



Step

4

【振り返り】

授業の最後に振り返り用カードも提出させる。一覧で見られるので、終わっていない人／友だちのカードを見て書き直した人など、声かけが必要な子どもがすぐに把握できる。

詳しくは
Webでチェック!



国語以外の授業でも、気づきや考えを
アウトプットする時間に使えます!

9 クラス全員でモヤモヤがゼロに! 匿名共有と意見交流

“考え方”を問う授業で使っています。これまでは、全体交流で取り上げるのは1時間に5-6人が限度でしたが、「ムーブノート」なら全員の意見を使って授業ができる。本時の課題提示～意見交流まで15分で完了します。

#意見交流 #一斉共有

金沢市立鞍月小学校
田野 健先生



BEFORE

AFTER

- 理解があやふやなままになってしまう子も
- 発表者が固定化し主体的に参加できない子も

- ▶▶ **児童同士でじっくり話し合う**から理解が進む
- ▶▶ 匿名だから自分の考えを**不安なく共有**できる

step

1

【授業前】

「広場」の設定を変える。「オブジェクトに名前を表示」をOFFにし、「自由に置く」設定に。匿名にすることで、自分の意見を出しやすくする。



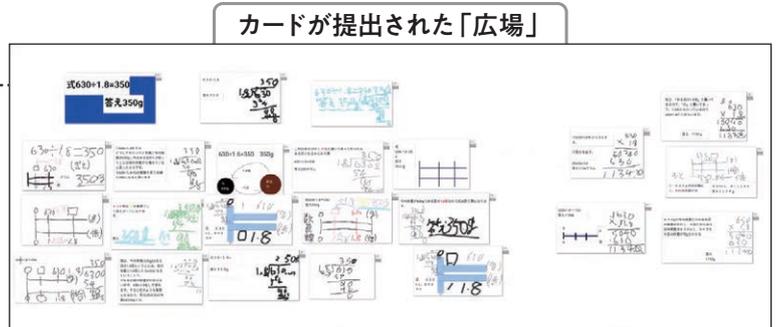
「広場」の「かんたん設定」をすべて左に設定する。

step

2

【課題の提示 & 個人思考(8分)】

課題に対する自分のアイデアをカードにまとめて、一人ひとりが分類しながら「広場」に出す。



左右で2つの意見に分かれたことが視覚的にもわかります。

step

3

【思考の整理(4分)】

「広場」に出されたみんなの意見を見ながら、自分のわかったこと・よくわからないことをノートにメモする。

step

4

【班内交流(3分)】

わかったこと・モヤモヤを班ごとに話し合い、疑問を解決したり理解を深めたりする。

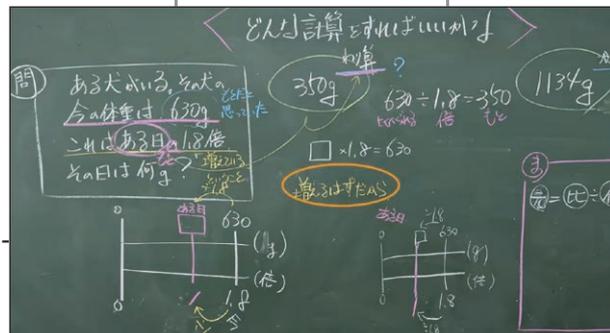
step

5

【全体交流・まとめ】

班内で解決できなかったモヤモヤを共有し、クラス全体で解決し、まとめる。

全体をまとめる板書



先生が子どもたちの意見を整理し、考えを深めていく。



考えが分かれることが想定される授業であれば、学年・教科・単元問わず使えます。

「テキスト分析」で対話が活性 共通解が見つかる意見交流

道徳の授業で、自分の考えを深めるために多くの意見に共通するキーワードを用いて授業を展開。「ムーブノート」のテキスト集計機能を活用しています。



相模原市立旭小学校
田屋裕貴先生

#意見交流 #集計機能

BEFORE

- 正解のない問いには発言しづらい雰囲気がある
- 先生主導型の授業になりがち

AFTER

- ▶▶ キーワード集計で論点が焦点化。**意見交流**しやすくなる
- ▶▶ 個人で考え、全体→班活動を経ることで**子ども主体の意見交流が進む**

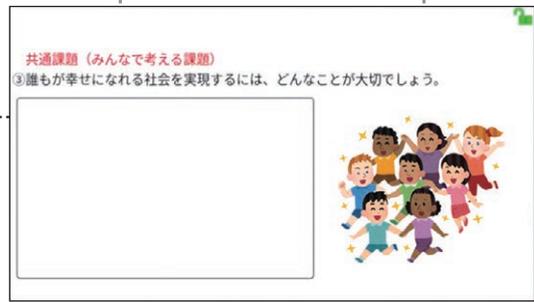
Step

1

[授業前]

先生は「問い」と「答えを書く枠」があるカードを作成し、子どもたちへ配付。

事前に準備したカード



人権についてのまとめの授業として「誰もが幸せになれる社会を実現するために大切なことは？」を考える。

Step

2

[個別]

子どもたちは、これまでの授業をふまえた自分の考えを記入し、「広場」に提出。

テキスト分析



Step

3

[分析・発表]

先生は「テキスト分析」を開き、多くの子どもたちに共通しているキーワードを拾い全体の傾向を伝える。

Step

4

[議論・まとめ]

賛否やその理由を子どもに問いかけながらクラス全体で議論。さらにグループになり、取り上げたキーワードを使い、問いに対する考えを話し合いながら一文にまとめ発表する。それに対する個人の本音(納得解)を振り返って授業を終える。



その言葉を書いた子を名指しし、口頭で発表させる。

詳しくは Webでチェック!



拡散しがちな意見交流ですが、キーワードで焦点化することで子どもたちを揺さぶる発問が投げかけられます。

道徳

ムーブノート

11 3ステップで多面的な視点が持てる自動車図鑑づくり

1年生の「自動車くらべ」で図鑑をつくります。まず個別探究から入り、共有を経て最後に個人で考えることで、異なる考えが組み合わさりよりよい学びが生まれます。

#意見交流 #学び合い

放送大学客員准教授
倉澤 昭先生



BEFORE

- 個別の学びは孤立しがち
- 考えを共有して終わりになりがち

AFTER

- ▶▶ 孤立せずに個別の学びができる
- ▶▶ 他者の意見に触れ自分の考えを深められる

step

1

【課題選択】

子どもは、先生から送られてきた5つの異なる自動車の写真・説明から、好きな自動車を1つ選ぶ。

step

2

【個別・調べる】

画面上で選んだ写真を拡大したり、説明に線を引いたりしながら、各自動車の「しごと」と「つくり」についての文章を読み込み、自分だけの図鑑をつくる。

step

3

【班別・まとめ】

同じ自動車を選んだ人とグループをつくる。人数は子どもが決め、自分が注目したことなどを伝え合う。友だちの話を聞いて、自分の「自動車図鑑」の説明に加筆をする。

step

4

【班別→個別→全体】

今度は異なる自動車を選んだ人とグループをつくる。ここでも人数は子どもが決め、伝え合う。紹介シートを完成させる。タブレットを見ながら書くことで、学習したことを容易に思い出せる。最後にできあがった図鑑を画面共有して読み合う。



異なる考えが組み合わさり、よりよい学びが生まれる。

詳しくは
Webでチェック!



自分で課題決定することで、子ども自身が学び方やスピードを選べるようになっていきます。

蓄積と共有で深い観察に！ 植物の観察記録

植物の観察など過程を記録させる授業で、子どもたち自身が写真を撮り「オクリンク」にためていきました。植物の変化や成長過程が比較しやすく、細やかな観察につながりました。



小矢部市立大谷小学校
川村美波先生

#直観的操作 #蓄積

BEFORE

- アナログの記録では詳細まで比較しづらい
- 個別で観察するだけでは観点が限られる

AFTER

- ▶▶ 写真で拡大や見返しがしやすく **細部に気づきやすくなる**
- ▶▶ ほかの人の気づきを見て **観察の観点**が増える

Step 1

【個別】

子どもは、毎時間「オクリンク」の同じボード上で、同じ植物を撮影。気づきを写真の上にペイントで書き込んだり、別カードにまとめたりして「提出BOX」へ提出。

子どもが撮影した写真と気づき



写真に気づきを書いた別カードをつなげることもできる。

Step 2

【協働】

「提出BOX」は公開されているので、子どもたちはほかの人の写真やメモから、よりわかりやすい写真の撮り方や自分では気づけなかった発見を知る。

「提出BOX一覧」の画面



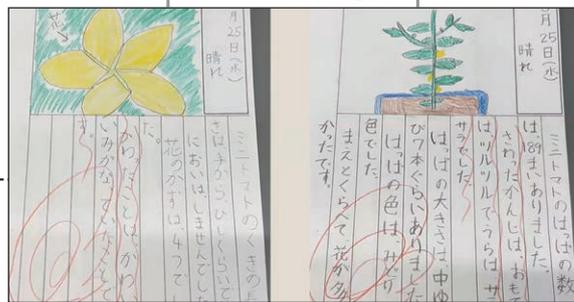
複数の「提出BOX」をつくり、日付ごとに「受付を切り替える」ことで、1つの時間割の中で提出物を管理することが可能。

Step 3

【個別】

それまでの記録の蓄積やほかの人の観察メモから、授業の最後に手書きで観察記録をつくる。

まとめの観察記録



写真なので、記憶にも残りやすく、拡大するなど細かい過程の気づきにつながる。

詳しくは Webでチェック!



観察当初からの大きな変化も前回からの小さな変化も両方つかみながら、ほかの人の観点も入り一歩進んだ観察記録になります。

理科

オクリンク

13 相互評価で改善が進む 英語スピーチ

6年生の英語のスピーチを家庭で録画させ、授業内で共有しました。事前の見本提示と観点共有で、質問や相互評価も活発化し、スピーチ改善の姿勢につながりました。



寒河江市立醍醐小学校
小関直幸先生

#相互評価 #学び合い

BEFORE

- 授業中しかお手本を聞くことができない
- 自分のスピーチを客観視しづらい

AFTER

- ▶▶ 家庭でもお手本を**何度も再生**することができ
試行錯誤できる
- ▶▶ **相互評価**によって自分では気づきにくいポイントに気づける

step

1

[全体]

授業の冒頭で、クラス全体でお手本となるスピーチ動画を見る。子どもたちは授業のイメージをもつとともに、評価基準を把握する。

先生のお手本動画を見る様子



Hello! I am
My birthday is...

タブレット上でも配信されているので繰り返し見られる。観点は、「カメラを見て言えたか・すらすら言えたか・ゆっくりはっきり言えたか・ジェスチャーをつけて言えたか」など。

step

2

[家庭・個別]

家庭で、「自分の宝物」を紹介するスピーチを撮影し、「提出BOX」へ動画を提出。

家庭学習で撮影した動画

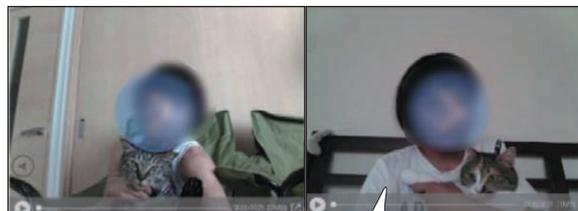


step

3

[班別]

ペアや3人組で、動画を見ながら相互評価する。観点にもとづきよいと思った点や「もっとこうしたら...?」といったアドバイスをし合う。



繰り返し練習して何も見ずにスピーチ。

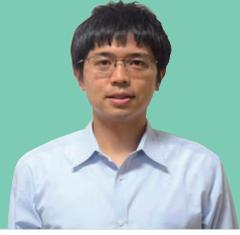
Hello! I live in Sagae in Japan.
I go to Daigo Elementary School.
I like cat. My treasure is this cat.



ほかの人のスピーチの様子を見てよかった点を話し、次回の自分のスピーチに反映する協働学習につながっています。

子ども主導で意志決定できる 学級会進行テンプレート

経験回数が少ない司会の役割。
「オクリンク」を使うことで話し合いの進め方を習得できるようにしました。



小矢部市立大谷小学校
大窪真也先生

#意見交流 #授業外活動

BEFORE

- 挙手・発表に時間がかかり意見がまとめづらい
- 話し合い進行の経験が少なく司会が難しい

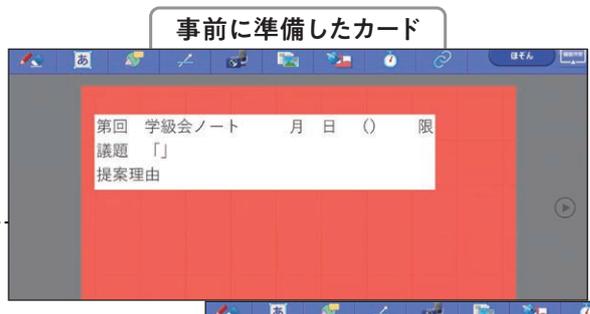
AFTER

- ▶ 事前の意見出し・色での意見表示で議論がスムーズに
- ▶ テンプレート使用で初めてでもできる

Step 1

[授業前]

進行のひな型となるカードを用意。議題や提案理由、めあてなどを司会担当の子どもが入力し、意見を書くカードとつなげて全員に配付。各自意見を書き、学級会前に提出する。

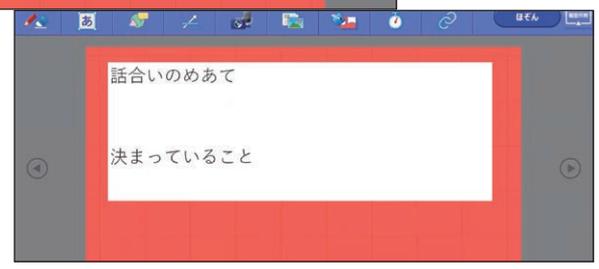


議題を事前に送り、学級会前に意見を集めることで、しっかり議論ができる。

Step 2

[比較]

カードを使って議論のめあてなどを確認したうえで、「提出BOX」を確認。意見を事前に色分けしておく一瞬でクラスの状況がわかる。



Step 3

[焦点化]

どの意見も取り上げ比較し、意見交換を進めていく。



意見の傾向を知ったうえで話し合いを始められる。

Step 4

[決める]

お互いの意見を理解し合い、新しい考えをつくったり条件をつけたりするなどして、提出された意見をもとに合意形成を行う。



子どもたちからもテーマや解決策を出すことができ、意識も変わってきています！

学級会

オクリンク

中学校の事例 START!

ミライシードを活用されている先生の
ICTの利点をいかした1日スケジュール

月末

予定表から翌月の
健康観察カードをまとめて送付



子どもたちの状況を予測しながら
質問を変えたカードを1か月分送付



ムーブノート



「今日の給食なんだと思う？」
「テスト1週間前って知ってた？」など、月間予定表を見ながら作成すると毎日送るより負担軽減。忙しい時期には気分転換になるものをテーマにし、返ってきたコメントを見て声かけを進める。

朝イチ

業務
効率化

自分の
健康観察カードも提出



登校

8:00

雑談のような投げかけで
コミュニケーションが生まれる



ムーブノート

「土曜授業だけど、お昼何食べる？」という質問に対しては、「近所のラーメン屋さんへ食べにいくよ」。小さなやり取りですが、心の距離が近くなる。



毎日の健康観察に「ムーブノート」を活用しています。気持ちのシェアのために投げかけを工夫したり、「聞いてほしいこと」を書くスペースやスタンプを使わせたりすることで、子どもの様子がひと目でわかります。

福岡市立田隈中学校
辻さやか先生

授業中

もっと子ども主体に

プリント一切なし
板書もワークも
カードで作成



紙がないことで
印刷・配付・回収の手間を最小化

オクリンク

技術科なので、実習の時間をたっぷり取るために「オクリンク」を活用。授業のポイントやワークシートを事前にカードで3～4枚送っておくことで、子どもたちが見通しを立てながら授業を聞くことができる。

授業後

一人ひとりが見える

提出物の
チェックは
必要な人だけ



提出物で
フォローすべき人を発見

オクリンク

授業中に提出させたカードは出せなかった子や、うまく書けない子を見つけるために使用。授業前後に時間の余裕が生まれる。

空き時間

業務効率化

先回りして
授業枠をつくる



退勤

17:00

先の予定を見越して
授業を組み立てる

オクリンク

空き時間は、教材研究や授業準備をする。单元ごとにカードやスライドをつくっておき、時間割が決定したら「オクリンク」の授業枠にあて込んでいだけなので授業直前に慌てない。



業務効率を上げながら、子どもの小さな変化に気づいたり主体性を伸ばすことができます！

視覚化・交流で理解が深まる 心情変化グラフ

主人公の気持ちの変化をとらえるため、個別にグラフをつくってからクラス全体で比較。ほかの人の考えから、学びが深まります。

#意見交流

#スタンプ機能

加須市立加須平成中学校
村山俊介先生



BEFORE

- 文章を読む・書くだけでは心情把握が難しい
- ほかの人の考えと比較がしづらい

AFTER

- ▶▶ **視覚化**することで心情の変化をしっかりとつかむ
- ▶▶ 様々な考えがグラフでわかり**気づき**につながる

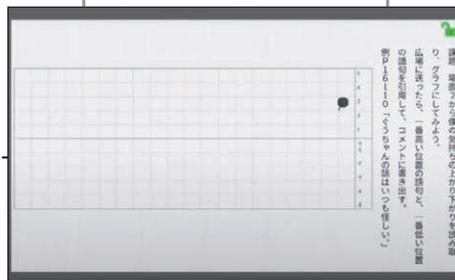
step

1

【授業前】

物語文の一場面を指定した問いとともに、グラフを記入するための横長の方眼フォーマットが入ったカードを用意する。

事前に準備したカード



「場面2から僕の気持ちの上がり下がりを読み取り、グラフにしてみよう」と問いを書く。

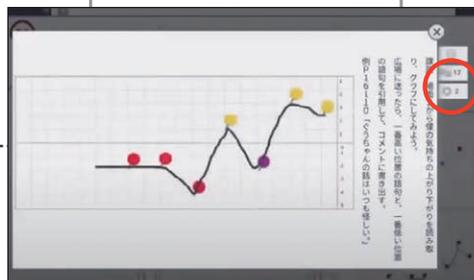
step

2

【個別】

子どもは、心情の移り変わりを、「スタンプ」で表す。「ペイント」機能でスタンプをつなぎグラフにする。

グラフを作成したカード



右側の星印からコメント欄を開き、引用箇所を記入する。

step

3

【まとめ・全体】

心情が一番高まっている場面、一番下がっている場面はどこか、コメント機能に本文を引用して記入。「広場」に提出後、クラス全員のカードを見て比較、着眼点の違いなどを知り、より深く心情を理解する。

「広場」で一覧化



ほかの人の「カード」に対して、拍手で反応するなどアクションする。

詳しくは
Webでチェック!



コメントに引用文を入れることで
交流と共有が生まれ、主体的な学びにつながります。

スピードも質も上げて効率化 提出物返却

「オクリンク」は、紙と同じようにマルやコメントをつけられます。すぐにフィードバックができるうえ、学び合いの機会にもなります。

#業務効率化

#学び合い

茨城町立明光中学校
福住里絵先生



BEFORE

AFTER

- 提出物の回収・配付に時間がかかる
- 生徒はほかの子どもの提出物を見る機会がない

- ▶▶ 回収・配付以外のことに時間をかけられる
- ▶▶ 提出物で学び合いが可能に

Step 1

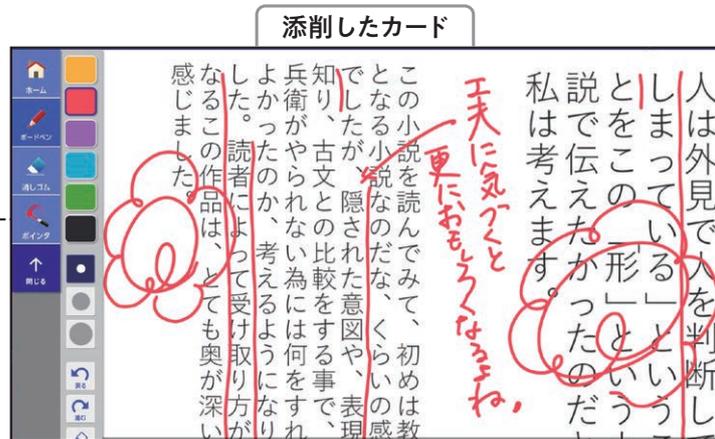
【振り返り】

子どもたちは授業の感想や振り返りなどを「提出BOX」に提出。

Step 2

【添削】

「提出BOX」でそれぞれのカードを開き、画面左上のくふたばアイコンをクリック。「ボードペン」を使って、線や文字を書き込む。



紙の整理なども必要なく、業務効率が格段に上がりました。

Step 3

【共有】

添削後、画面右上にある「すべての提出物を子どもに公開」をオン。ほかの子どもの添削結果を参考にすることが可能に。



ほかの人や先生のコメントを見ることで、子どものモチベーションも上がります。

Step 4

【復習】

ほかの人のカードにどんなコメントが入っているのか、どんな点に花丸がついているのかを見て、自分の考えを深めることができる。

詳しくは
Webでチェック!



後日、評価のための振り返りもしやすく
子ども同士で刺激にもなります!

3 文法を「使って」定着 英作文プレゼン

学んだばかりの文法「I think that~」を用いて、英語で意見交流・プレゼンテーションを行います。単なる文法理解ではなく、英語を「使う力」を養います。



加古川市立陵南中学校
新井倫子先生

#相互評価 #学び合い

BEFORE

- 正しい文法を意識しすぎてたくさん書くことが難しい
- 教科書の文法理解だけでは単なる暗記にとどまってしまう

AFTER

匿名、かつ正しさよりもしっかり表現することを重視。
表現力が積みあがる
習った文法をすぐに使うことができ理解を深め
応用できる

step
1

[個別]

授業のはじめに、お手本となる文と子どもが記入するシンプルなカードを送る。授業の流れや無記名で提出することを伝え、「伝えるための英文」をつくるよう指示。子どもはインターネットで文法を調べたり、先生に質問したりしながら英作文を「広場」に提出。

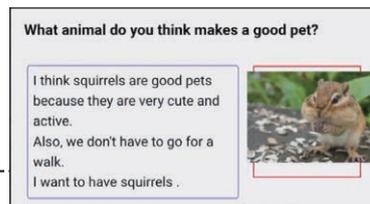


シンプルな枠と写真にすることで、英文に集中できる。「どんなペットがいいか？」がテーマ。

step
2

[全体]

クラス全体で、「広場」で確認。子どもは自分がよいと思ったカードに、一人3つまで厳選して「拍手」をする。「拍手」が多いものをクローズアップ。



I think that~, because~, And~, Also~などを使い、最低5行書く。

step
3

[グループ]

ペットの種類が分かれるように、先生がグループ分けして、英語で説明し、意見交換をする。使えるフレーズのヒントを板書し、子どもたちが会話を長く続けられるようにする。グループの代表者を決める。



完成する人が増えてきたころに提出させることで、ニガテな子も先に提出された英文を参考にできる。無記名なので、出しやすく、「拍手」をした理由を聞くなどする。

step
4

[全体]

代表者をピックアップして、全体にプレゼンテーション。それを参考に、自分の英文を修正していく。自分で調べる習慣もついていく。



よく使われる単語の集計をすることも。



普段から日本語をなるべく用いない授業や指導を意識し、子どもたちが英語をツールとして使えるようにしたい！と考えています。

色・線の工夫で伝わりやすく表現 立式の考え方共有

文字式の導入で、色と囲みを使って考え方をまとめ、ほかの生徒の考え方を説明させます。「ムーブノート」の「タブ」を切り替えることで、1コマの中で応用問題にも挑戦できます。

#直観的操作

#学び合い

能美市立辰口中学校
三輪裕輝先生



BEFORE

AFTER

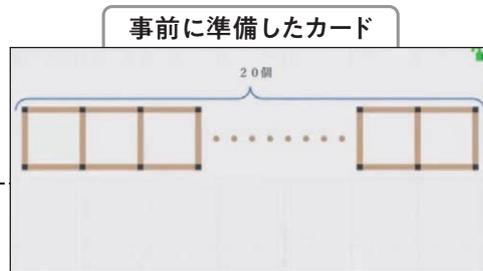
- 言葉や文字で考え方を表すことが難しい生徒も
- ニガテな人は考える糸口が見つげづらい

- 色の工夫によって考え方をわかりやすく表現できる
- 先に提出した人の考え方を見てマネをするなど発展した学びに

Step 1

[指示]

「ムーブノート」で、考え方と式を書くシートを配付。同じものをプリントで2~3枚配る。「ほかの人がシートを見ただけでわかるように」と指示をする。

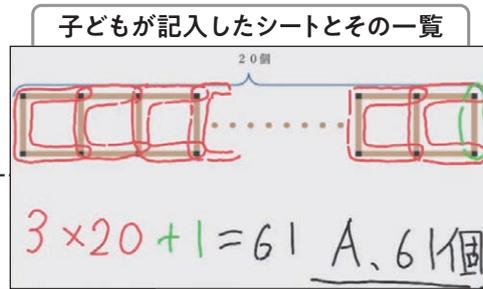


「マッチ棒で正方形を20個つくるときに、マッチ棒は何本必要か？」という問いに取り組む。

Step 2

[個別・ペア]

子どもは紙に色や囲みを使って考え方を整理。式を作成後、「ムーブノート」のシートに転記し「広場」に提出。ニガテな人は、先に提出されているものを見ながらつくる。提出後、隣席の人に自分のシートを見せ、説明する。



考え方が偏った場合は、早く終わった子に別の意見も出してもらおう。

Step 3

[全体]

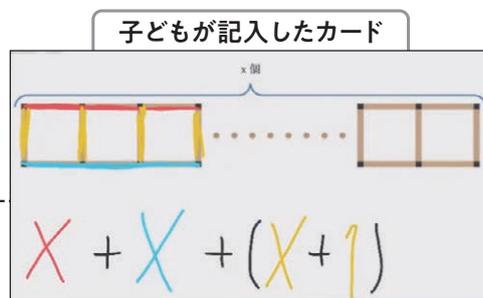
クラス全体で、考え方の種類を分類。それぞれの考え方について、書いた人ではない生徒に説明してもらおう。



Step 4

[発展]

単元の本題である文字「x」個の場合の考え方をタブを切り替え、シートに入力、提出。20個の場合の考え方を見返すなどして、自分で説明できるようにする。



20個をx個に変えて、単元の本題を解いていく。

詳しくは
Webでチェック!



「見ただけで考え方がわかる」ように表現し異なる考え方も説明してみることで、子ども自身の理解も深まっています!

単元導入時にニガテ意識払拭 考え方の分類

比例・反比例は小学生のときからニガテ意識を持った生徒が多い分野。単元に入る前の導入として、「ムーブノート」で楽しく考え方をグループ化することから入りました。

#意見交流

#学び合い

福岡市立田隈中学校
中村勇太先生



BEFORE

AFTER

- ニガテ意識のある人は考える手がかりを見つけにくい
- 考え方のパターンを複数もちづらい

- ▶▶ ニガテでもほかの子の考えを参考に進める
- ▶▶ 複数枚のカード配付でたくさんの考えを見つけようと意欲が高まる

Step

1

【授業前】

先生は考えと表・グラフを記入させるカードを作成し、複数枚送っておく。



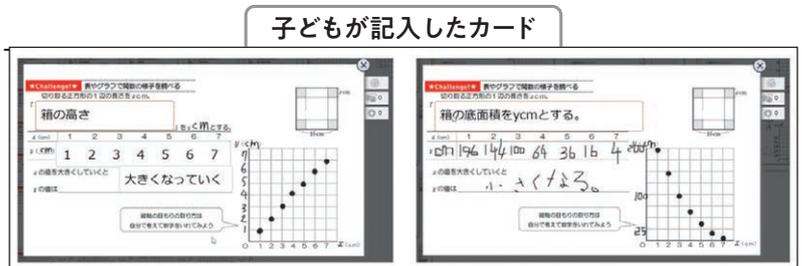
正方形の四隅を切って箱をつくる問題のカード。

Step

2

【個別】

各自で関数関係を見つけ、考え方や数値を記入できたら、「広場」に提出。カードは数枚持っているの、いろいろな考え方を出そうと意欲が出る。



yを「箱の高さ」とした場合の例(左)と「底面積」とした場合の例(右)。

Step

3

【まとめ・全体】

先生は「広場」で、考え方の同じカードごとにグループ分けをする。それぞれの考え方について説明した後、比例・反比例の単元の学習に入っていく。



「広場」でグループングし、考え方のパターンを整理する。

詳しくは
Webでチェック!



得意な子はほかの人が思いつかない考えを出そうと頑張るなど、各自のペースで進められるのも魅力です。

全体共有でつまづきを解決 図と説明から理解度確認

「体細胞分裂」について学習をした次の時間に、その復習を「ムーブノート」で実施。「分裂後の染色体の数は半分になる」というよくある誤解を解消するため、染色体の数を図解しその理由について記入してもらいました。

#一斉共有

#意見交流

横須賀市立長沢中学校
程島綾香先生



BEFORE

AFTER

- 習ったことが記憶に残りづらい
- 事象の背景・理由を説明することが難しい

- ▶▶ 間違いやすいポイントが**視覚的に**記憶に残る
- ▶▶ 説明や比較をし人の説明を聞くことで**さらに理解が深まる**

Step

1

【授業前】

先生は、染色体の数の変化を記入させる図と説明欄を設けたカードを作成し配付。

Step

2

【個別】

子どもは、染色体の数を図の赤い丸の中にペイントで描く。また、その数にした理由を説明欄に記入後、「広場」へ提出。

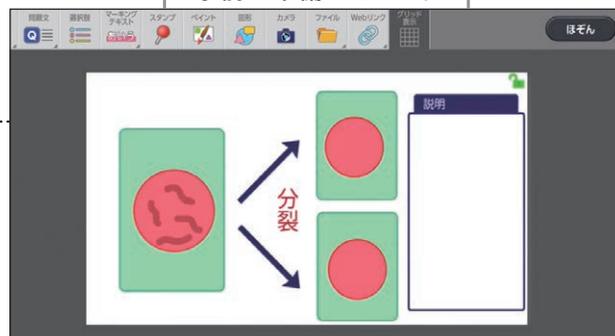
Step

3

【まとめ・全体】

クラス全体で、カードを比較し、正しい染色体の数を考える。図を見て、自分と同じ考えや異なる考えの理由を読み、間違いに気づいたり理解を整理したりすることができる。

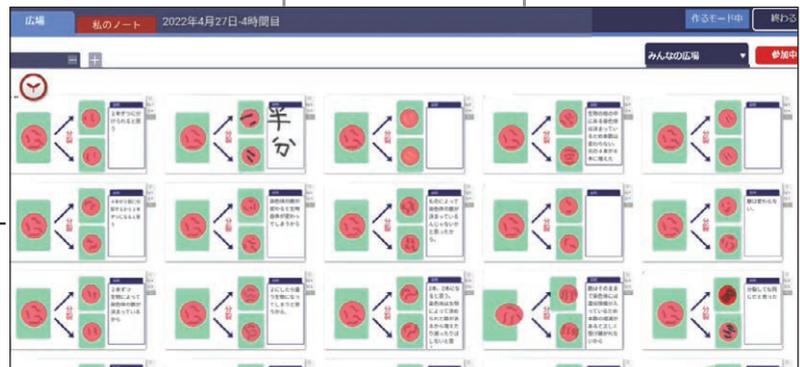
事前に準備したカード



子どもが記入したカード



「広場」で一覧化



詳しくは
Webでチェック!



たとえ間違えても自分だけではない安心感があり
図示によってしっかり知識が定着します。

時代の特色を再整理できる 人物調べとNO.1投票

単元のまとめで「オクリンク」を使いました。「この時代に最も影響を与えた人はだれか」を決める投票を行い、その時代への理解を深めました。

#一斉共有

#学び合い

枚方市立第四中学校
佐納達平先生



BEFORE

AFTER

- 調べるだけ・発表するだけで印象に残りづらい
- 人物名や出来事はつい暗記になってしまう

- ▶▶ 「投票」でゲーム要素も入れてより主体的に表現する
- ▶▶ 人物に焦点を当てることで知識を再整理できる

step

1

【個別】

単元(時代)に登場した重要人物を提示。各自、最も影響を与えたと思う人物を一人選んでその理由もカードに書く。

step

2

【班別】

各自タブレットを見せながら、班の人にプレゼン。最後に「提出BOX」に出してもらう。

step

3

【全体】

数名の生徒が人物を選んだ理由を発表する。

step

4

【まとめ・全体】

班での活動、全体での発表を経て、再度キーパーソンだと思ふ人物に投票する。

事前に準備したカード

P36~51、60~61

3-9. キーパーソンは誰だ! ?
(飛鳥~平安中期編)

目標
飛鳥時代~平安時代中期の重要人物の紹介を聞き、古代の日本の特色についてまとめることができる。

① 飛鳥時代~平安時代中期(P36~51)の期間で「キーパーソン(重要人物)」と思う人物を決める。

推古天皇	中臣鎌足	桓武天皇	藤原頼通
聖徳太子	天武天皇	坂上田村麻呂	紀貫之
小野妹子	持統天皇	最澄	清少納言
蘇我馬子	聖武天皇	空海	紫式部
蘇我入鹿	行基	菅原道真	など...
中大兄皇子	鑑真	藤原道長	

この授業の目標や、授業の流れも伝えておく。

子どもが提出したカード

人物は同じでも、着眼点の違いなどを話し合う。



生徒が興味を持ちやすい人物に焦点をあてることでその時代の理解を主体的に深めることができます。

伝わる書き方で対話が生まれる 話型テンプレ

ほかの人の意見にコメントをする際、「話型」をヒントとして与えることで、感想がひと言ではなく具体的にになります。

#意見交流

#相互評価

愛知県みよし市立南中学校
金原洋輔先生



BEFORE

- 感想が簡単なひと言のみになりがち
- 子ども同士の話し合いに発展しづらい

AFTER

- 感想を書く**観点が広がり**
課題に対する考えが深まる
- 自然に**対話的な学び**ができるようになる

Step

1

【授業前】

先生は、課題を書いたカードを作成。さらに、ほかの人への感想を書く際に参考になる「話型」を使った例文を書いたカードを添えて、子どもに送付する。

事前に準備したカード

事前に準備したカード	
第2次世界大戦の一番の原因となった事件はなんだと思いますか？	
歴史的事件	
理由	参考となる資料
<p>〇〇さんの意見を見て、△△という面は考えたことがなかったので××と言うこともあったと思った。</p> <p>〇〇さんの意見を見て、たしかに前の時代と比べて△△になっていると思ったので××もありだと思った。</p>	

上：課題のカード、
下：感想を書く際、
新しく得た視点や
比較を取り入れるなど、「話型」を例示したカード。

Step

2

【個別】

子どもは、自分の課題のカードを提出したら、「広場」でほかの人が書いたカードを見る。その際、先生が例示した話の型を参考にコメントを書き込む。

Step

3

【協働】

3～4回程度繰り返し話の型について言及したり、比較し理由を整理したりすることで、論理的に考え自分の意見を具体化することができる。

はくしゅ 17人が拍手しています。

24件のコメントがあります

確かに奈良時代より量が少
ないから食料が少なくなっ
ているのか!!

どうしてそのような時代層
層まで知っているのか大変
感銘を受けた次第でありま
す。このようなことに熱心
を持つことは大変素晴らしい
ことだと思います。

ええっそれは全国を踏
つた大軍と大副将が同時に
来たことにより栄華の都と
言われた京都にもそれが襲
いかり貴族だけに留まら
ず天皇までも食べられる量
が減ったらしいよ

子ども同士の コメントでの対話

先生が話さなくても、対
話が自然発生するように。

詳しくは
Webでチェック!



どの教科においても、自分とは異なる
考えを持つ人とのやり取りは、多角的に
自分自身の考えを練り直すことにつながると思います。

“ルーティーン”をつくれれば時短&つまずかない

お悩み別 スムーズなタブレット

忘れにくい方法を知りたい!

タブレットをよく忘れる



- ✓ 日課表(時間割)に **マーク**を付ける

タブレットマークの
ついたマグネットを
用意しておくと便利!

11月8日(火)		
1	算数	~ T
2	国語	~
3	理科	~ T
4	理科	~
5	体育	~
6	道徳	~ T

- ✓ **前日&朝の会**で
確認する



- ✓ **タブレットを忘れたときの
ルール**をつくっておく

- ・ 隣席の子と一緒に使う
- ・ 予備機を使う
- ・ タブレットなしで授業に参加する など

TEACHER'S COMMENT

朝の会で忘れた人がいないか確認し、予備機の手配などがギリギリにならないように注意しています。休み明けやタブレット使用期間が空いてしまったときなどは、特に念入りに保護者にも連絡する、を心がけています。

— 東京都立小学校 S先生



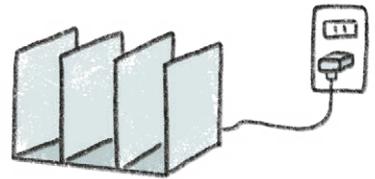
必ず一人はいる…

充電してきていない



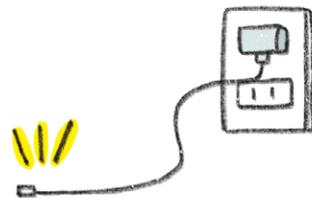
- ✓ 予備アダプターがある
充電スポットをつくる

仕切りスタンドが
役立つ!



- ✓ **朝の会**で充電をチェック。
教室に予備アダプターを用意し
足りなければ充電させる

- ✓ **保護者**に充電しやすい
環境を整えてもらう



家庭でも
充電スポットを
つくっていただく!

TEACHER'S COMMENT

故障や充電がなくなってしまったなどでタブレットが使用できない人は、ノートやワークシート、付箋などを使用して活動に取り組みます。事前に、タブレットがない授業展開も考えておくようにもしています。

— 新宿区立柏木小学校 高橋先生



運用のポイント

時間がどんどん足りなくなる…

授業前にバタバタする

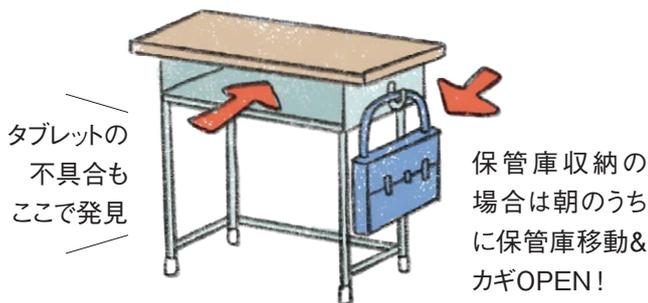


- ✓ **タブレット係**の呼びかけで出し入れや充電をチェックする



破損しないよう注意しながら大きいカゴでまとめて運んでも◎!

- ✓ 保管庫に置いて帰る場合も、持ち帰りの場合も、朝イチで取り出して**ログイン**する



タブレットの不具合もここで発見

保管庫収納の場合は朝のうちに保管庫移動&カギOPEN!

TEACHER'S COMMENT

保管場所を決めておくことが大切です。専用バッグを机にかけ、使わない授業ではその中にしまっておく、タブレットを使用する授業が終わったらそこに戻す、を習慣化しています。

— 長崎県公立小学校 T先生



ICT授業では、「タブレットを使用するときすぐに使える」ことが大切です。準備や置き場について、よくあるお困りと活用しやすくなる工夫をご紹介します。

＼さらに使いやすく!/ タブレット管理のコツ

タブレットの管理が乱雑になりがち

- ✓ 扱い方の注意を資料に

学校版の端末活用のルールをリーフレットにまとめ、全家庭に配布し転入生や新1年生への指導に活用しています。保管方法や個人情報に関する決まりなどよりどころになる資料があると指導しやすいと思います。

— 新宿区立柏木小学校 高橋先生



長期のお休みでも学習が続くように

- ✓ 保護者を巻き込んだ家庭活用指導

タブレットを長期間家庭に持ち帰ってもらう際には、子どもと保護者と一緒に設定をしてもらうなど、オンラインでの学びの方法も理解して協力してもらいます。

— 相模原市立旭小学校 田屋先生



タブレットの不調や
 forgot 子への対応

- ✓ 先生がフォローし全体共有

タブレットが使えない子は、紙のノートに課題についての考えなどを書いて先生のタブレットで写真を撮り、先生が「提出BOX」へ送ることで、全体共有をします。

— 茨城町立明光中学校 福住先生



サポートコンテンツのご紹介

「ミライシード」の活用のヒントや、よりよい使い方がわかるサポートサービスを追加料金無料でご用意しております。

※ここに掲載している情報は、2022年10月時点で得られた情報をもとにしています。

スマホ・
タブレット・
パソコン

最新の活用事例やFAQを掲載

「ミライシードファンサイト」

「ミライシード」のすべてがわかるポータルサイトです。ウェブセミナーの最新情報や基本操作がわかる動画など、活用サポートや先生たちの工夫をご紹介します!

アクセスはこちら!



ミライシードのポータル画面下部のバナーからもご覧いただけます。

さらに!

メールマガジンもオススメです!

ウェビナー情報や機能改定情報のお見逃しがないよう、メールマガジンを定期配信しています。



◀ アクセスはこちら!

Facebookも更新中!

Facebookをお使いの先生にはオススメです。ぜひご活用ください。



◀ アクセスはこちら!

その場で質問できて詳しくわかる!

▶ オンライン研修 Webセミナー

初めて使われる先生、使い方に不安がある先生向けの操作説明会を毎月開催。不明点をチャットで質問でき、大変ご好評いただいています。また、新しい機能の紹介や実践事例をお伝えするWebセミナーも毎月開催中です。



初心者
研修

45分で「オクリンク」「ムーブノート」などを体験しながら、操作の不安をなくすることができます。

チャットで
個別に対応

アクセスはこちら!



自分から全員
ログインできずに困っています。
ベネッセ中塚から自分に
まず下記のURLにアクセスはできたでしょうか?
できた場合、1年1組1番でパスワードは****
を入力いただけますか?
https://miraiseed.benesse.ne.jp/seed/start/****
To ベネッセ中塚
ありがとうございます! ログインできました!

9月アップデート
受付が同時に複数でも可能に!
オンライン
セミナー
開催
新機能を活かす!
実践共有会
10/11 20:00-20:30
詳細はこちら

Web
セミナー

実践事例や活用
アイデア満載で
す。見逃した方に
は、アーカイブも。

100名以上掲載! 日々更新中

▶ 活用事例

全国の先生方が実践され、効果のあったオススの「ミライシード」活用アイデアを厳選して掲載しています。

教科やアプリで
絞り込める

アクセスはこちら!



活用事例
ミライシードをお使いの先生方にオススの活用方法を紹介します。使う場面にあった時は、カテゴリやキーワードから探しみてください。
検索
+ 学年や教科、アプリなどで探す
人気の活用事例
立ち幅跳びの練習
毎朝の健康チェック
英語のパフォーマンステスト
問題の出し合い

活用事例のサムネイル:
文章の組み立てを考える
家庭での学習意欲が向上
自主学習の取り組みの共有
英語のパフォーマンステスト

単元名や学年・教科でも
検索可能!

キーワード検索で疑問スッキリ!

▶ よくあるご質問

キーワード検索はもちろん、最近多く寄せられている質問などカテゴリごとに解決法を探ることができます。

検索しやすく
お困りのことが
即解決!

アクセスはこちら!



よくあるご質問
検索したいキーワードを入力してください
スタート画面が表示されません
子どもがログインできません
過去年度の授業の提出BOXの内容は確認できますか
カメラの初期化エラーですと表示されます
子ども同士で送ったカードの内容を見ることはできますか
授業終了後に子ども同士でカードを送らないように設定できますか
マニュアルはどこで見られますか
少人数クラスを作成したいです

よくあるご質問
子ども同士で送ったカードの内容を見ることはできますか?
子どもは自分が送った履歴のみ、先生は自分が送った履歴とその授業内で子どもたちが送った履歴を確認できます。
オクリンクボタンをタップすると表示される「送信履歴」をタップしな

画面とともに説明されているので、簡単に操作することができます。



スマホ・
タブレット・
パソコン

最新の活用事例やFAQを掲載

大好評

「ミライシードファンサイト」

詳しくは中面で!

アクセスはこちら!



ミライシードのポータル画面下部のバナーからもご覧いただけます。

2022年度秋版 ミライシード活用事例BOOK

2022年10月1日発行
発行所:(株)ベネッセコーポレーション
小中学校事業部

冊子作成にあたり、ご協力をいただいた先生がたに心から御礼を申し上げます。

©(株)ベネッセコーポレーション